

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（6月）

令和7年6月17日
青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稻

（1）作業進ちょく状況

4月下旬から5月上旬にかけて雨の日が多く、本田準備作業が遅れたため、管内の田植最盛期は平年より2日遅かった。

表1 田植え進捗状況

	田植え		
	本年	平年	平年差
始め（進ちょく率5%）	5/15	5/15	平年並
最盛期（進ちょく率50%）	5/24	5/22	遅2日
終わり（進ちょく率95%）	6/ 4	5/30	遅5日

（2）本田の生育状況

5月第5半旬の低温・少照の影響で一部のほ場で葉先枯れや代枯れが見られたが、徐々に回復してきている。

（3）今後の対策・指導等

- ①天候に合わせて適正な水管理をする。
（浅水管理による分けつ促進、高温時に適宜水の入れ換え、適期の中干し）
- ②除草剤を適期かつ適正に散布する。
（後発のヒエ及び広葉・多年生雑草の対策）
- ③農作業履歴の記帳をする。
（特に使用農薬の記録）

2 小麦

（1）生育の状況

生育観測ほの出穂期は5月17日で平年より1日早く、開花期は5月27日で平年より2日遅かった。

6月10日の調査では、稈長は89.2cmで平年より長く、穂長は8.6cmで平年並み。m²当たり穂数は421本/m²で平年並みであった。

生育観測ほの出穂後の積算温度による予想刈取適期（830～950℃）は、7月5日～7月10日の見込みである（6月10日現在）。

表2 小麦生育観測ほ生育状況（6月10日調査） 調査地：八戸市 市川

年次	は種日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	出穂期	開花期
本年	10月9日	89.2	8.6	421	5月17日	5月27日
平年	9月27日	76.0	8.2	443	5月18日	5月25日
前年	10月13日	79.2	7.9	504	5月13日	5月20日

※平年は、H28～R6年の平均値。稈長、穂長、穂数の平年値は収穫時の調査結果をもとにした参考値。

（2）今後の対策・指導等

品質が低下しないよう適期に刈取りを行う。

3 大豆

（1）作業進ちょく状況

①八戸市 市川地区大豆転作営農組合

は種は6月3日から行われ、6月9日に終了した。

②五戸町 農事組合法人くらいし

は種は6月9日から行われ、6月12日頃終了の見込みである。

II 野菜

1 ながいも

（1）生育、作業の状況

生育観測ほの植付けは、平年より8日遅い5月14日に行われた。6月10日現在、萌芽していない状況となっている。

一般ほ場の植え付け作業は、最盛期を迎えている。

（2）今後の対策・指導等

①ほ場周辺の明きょなど排水対策を実施する

②支柱立て・ネット張り作業を順次行う。

③種いもほ場を中心に、アブラムシ類の防除を徹底する。

2 ねぎ

（1）生育の状況

生育観測ほの生育は、草丈は65.5cmで平年比93%と平年を下回るものの、茎径は17.0mmで平年比101%と平年並となっている。

病害虫はさび病、アザミウマ類の食害やハモグリバエの産卵痕、食害がみられるが発生量は少ない。

一般ほ場の生育は概ね順調である。

表3 ねぎ県生観ほ生育状況（6月10日現在）

調査地：八戸市是川

年 度	定 植 期					6月10日現在 (本年調査日：6月 10日)	
	品 種 名	は種期 (月日)	育苗 状況	定植期 (月日)	活着 状況	草丈 (cm)	茎径 (mm)
本 年 (平年比)	夏扇パワー	1/5 遅17日	良	4/1 遅9日	良	65.5 93%	17.0 101%
平 年	夏扇パワー	12/19	—	3/23	—	70.6	16.8
前 年	夏扇パワー	12/25	良	4/4	良	77.4	16.1

※ 平年はH27～R 6の平均値

(2) 今後の対策・指導等

- ①今後、べと病や葉枯病などの病害、ネギアザミウマなどの害虫が発生しやすい時期を迎えるので、防除を徹底する。
- ②培土は、太さを確認しながら、高温の時間帯を避け、早朝に実施する。

3 にんにく

(1) 生育の状況

6月10日現在の県及び地区生育観測ほの生育は、地上部の生育は概ね平年並みから平年を上回っているものの、地下部の生育は平年を下回っている。

病害は、春腐病やさび病が多く発生しているほか、一部では黄斑病・葉枯病の発生もみられ、多発傾向のほ場もある。

りん片分化期後の積算気温による予測では、収穫時期は直近10か年の平均と同程度～7日程度遅いと見込まれる。

(2) 今後の対策・指導等

- ①病害虫の発生がみられるほ場では、収穫前日数、総使用回数に注意しながら薬剤を選択し、早期の枯れ上りを防止するため防除を徹底する。
- ②ほ場ごとに必ず試し掘りを行い、適期に収穫する。
- ③収穫前に乾燥設備を点検するとともに、温度、通風、換気の3つのポイントをおさえて、しっかりと乾燥させてから、種子用と販売用に分けて隔離して保管する。

表4 にんにく生育観測ほ調査結果（6月10日：20株調査、球径・球重は4株）

調査地点	マルチ	年次	品種系統	植付日	りん片 分化期	草丈 (cm)	生葉数 (枚)	茎径 (mm)	球径 (mm)	球重 (g)
五戸 (桜沢)	グリーン	本年	白玉王	10月6日	4月18日	87.5	8.1	22.8	62.9	100.5
		平年比		7日遅い	4日遅い	107%	98%	111%	98%	96%
		*平年		9月29日	4月14日	82.0	8.2	20.6	64.1	105.0
	グリーン	*前年	白玉王	10月5日	4月14日	79.4	7.9	20.5	66.0	97.5
旧倉石 (又重)	グリーン	本年	在来種	10月2日	4月21日	86.0	8.4	21.1	53.9	69.8
		平年比		1日遅い	6日遅い	99%	102%	114%	87%	73%
		平年		10月1日	4月15日	87.0	8.2	18.5	62.2	95.8
	グリーン	前年	在来種	10月4日	4月15日	81.7	7.2	16.8	64.9	100.0
新郷 (扇ノ沢)	グリーン無穴	本年	在来種	10月3日	4月21日	83.2	8.2	21.4	62.3	89.0
		平年比		平年並	5日遅い	103%	101%	111%	103%	96%
		平年		10月3日	4月16日	81.1	8.1	19.2	60.5	92.4
	グリーン無穴	前年	在来種	10月1日	4月15日	77.7	7.6	18.3	64.9	98.0
田子 (日ノ沢)	グリーン	本年	白玉王	9月28日	4月21日	85.0	8.3	20.5	56.0	76.9
		平年比		2日早い	5日遅い	104%	104%	110%	91%	84%
		平年		9月30日	4月16日	81.6	8.0	18.6	61.3	91.4
	グリーン	前年	白玉王	9月30日	4月14日	85.3	8.1	18.6	67.2	117.9

注) 平年値について

五戸：H27年～R6年までの過去10年間の平均値（参考値：R3から調査地点変更）

旧倉石：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

新郷：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

田子：H27年～R6年までの過去10年間の平均値（黒マルチのR2年は除く）

表5 にんにく生育観測ほ病害発生程度調査結果（6月10日：100株調査）

場所	春腐病	さび病	葉枯・ 黄斑病	欠株
五戸	39%	29%	0%	2%
旧倉石	0%	0%	0%	1%
新郷	25%	5%	3%	0%
田子	0%	77%	0%	5%

4 トマト

(1) 生育の状況

生育観測ほの定植期は5月12日で、平年より1日遅かった。定植前の気温は低めであったものの、適切な管理で地温が確保され、活着は良好であった。

第1花房の着果節位は7.5節で、過去5か年平均（7.6節）と同等であった。1段目の開花期は5月29日で平年より3日遅く、現在は3段目の開花が始まっている。病虫害の発生は特にみられない。

一般ほ場では、定植後の活着は概ね順調であったが、低温や日照不足の影響により、生育は若干遅れ気味となっている。一部のほ場でトマトキバガの被害がみられている。

表6 トマト県生観ほ生育状況

調査地：三戸町斗内

年 度	品 種 名	定植期 (月 日)	育苗・活着	1 段花房	
				開花期(月 日)	着果数(個)
本 年 (平年比)	りんか 409 (自根)	5 / 12 (1 日遅)	良好	5 / 29 (3 日遅い)	— (—%)
平 年	りんか 409	5 / 11		5 / 26	4. 1
前 年	りんか 409	5 / 5	良好	5 / 21	4. 6

(2) 今後の対策・指導等

- ①樹勢や天候に応じたかん水や、追肥を実施する。
- ②高温や湿度が高い時は積極的に換気する。
- ③定期的な病虫害防除を実施する。